

山口高校 進路部から

2020/05/18 山口高校進路部

☆ ラスト1週間、何をすべきかもう一回確認しよう

学校の臨時休業が続いていますが、皆さんの家庭学習は軌道に乗っていますか？ 今の状態が続けばあと1週間で解除の予定です。そこで今回はこの1週間でやっておくべきことについて改めて指摘したいと思います。

最初に指摘したいことは、「**きちんと自学ができている人は休業期間の最後まで継続する**」「**きちんと自学ができていなかった人は、これからの1週間で自学をやりきることに取り組む**」ということです。

今、すべての山高生が忘れてはいけないことは「**1年間を乗り切る自分の土台を作る**」ことだと思います。学校が再開すれば、最初のうちは久しぶりということもあって登校することが楽しく感じられるでしょう。しかし、しばらくすると1日の長さや同じパターンの生活の繰り返しの、必ず面倒くささやわずらわしさを感じるようになります。家での生活に慣れてしまって、しばらくの間は課外や部活動まで体力・集中力が持たないかもしれません。「1年間なんてあっという間だ」といろいろな人が言っていますが、自分でそれが分かっているつもりでも、**人間は目前の為すべきことにすら集中できず、時間を浪費してしまう生き物**です。本来ならとっくに始まっているはずの授業時間もずいぶん削られてしまいました。どの学年においても、これまでなら丁寧に取り組めたこと、繰り返し行う余裕があったことも、急いで簡潔に行わねばなりません。

このようなことを考えると、「**自発性、集中力、根気強さ**」が例年以上に大事になります。この力が不足していると、例年よりもペースアップする授業や学校生活について行くことが厳しくなります。ただでさえ短くなりそうな学習期間で、**スムーズに学校・学習生活のスタートが切れないと、上級生でも下級生でもその遅れは一年（それ以上かも）を通して影響します**。「自発性、集中力、根気強さ」を育むこと、自分の生活・学習リズムを確立し、**絶対にスタートでつまづかないこと**。それを忘れずに1週間で過ごしてください。

それともう一つ大事なことを挙げておきます。それは「**休業期間のことは休業期間内で終える**」ということです。学校が始まっても休業期間の課題提

出に追われている、これでは本末転倒。新たな生活のスタートなどできるはずがありませんし、休業期間中何の力もついていないということになります。『「自発性、集中力、根気強さ」を大事にして、1年間の土台を築く。』『新たな高校生活のよいスタートをきる』という目標を達成するために休業期間のことは休業期間中に終わってください。

☆ 悩まないといけないことできちんと悩もう

学校再開を控えて、誰もが期待と不安を抱えています。特に3年生の皆さんは「受験スケジュールはどうなるのか」が最大の心配事だと思います。

休業にあわせて共通テストの実施が遅くなるかも・・・とか、出題内容が変わるかも・・・とかつい考えてしまいますね。でもね、「考えても意味はありません」私たちは既に2回も急な予定の変更を強いられています。一度目は英語の外部検定導入、二度目はセンター試験の記述問題導入です。当時は予期せぬ肺炎の流行などはなかった、それなのに言い出したことが実施されませんでした。今は「9月入試の可能性を」とか言っていますが、この9月までにそんなことが本当に実現できるのでしょうか。疾病の流行には2波、3波があって・・・となると、受験スケジュールがどうなるかなんて予測しようがありません。また、受験問題は長い時間をかけて作られるものです。今年肺炎が流行したからといってすぐに内容が変更できるものではありません。結局はスケジュールや出題内容の変更について、いくら悩んでも結論は出ないし、悩む時間があったくないということになります。

でも、今の状態で一つだけ断言できることがあります。それは「受験スケジュールが前倒しになることだけは絶対にありえない」ということです。だからこそ3年生が今やるべきことも明白です。「受験が正規のスケジュールで行われると考え、それにあわせて自分を磨け」ばよいのです。3年生の皆さんは「どうすれば時間の空費・浪費をなくせるか」、「どうすれば正規の受験スケジュールに間に合うように学力向上ができるか」、このことで悩みましょう。まず英数国をできるかぎり早く一定水準に引き挙げて、理社に腰を据えて取り組める余裕を作ることです。努力する山高生にとっては、受験が遅くなっても不利はありません。遅くなった分だけ学力の完成度がより高まるのですから。努力しない者にとっては受験がどう変わろうが、さぼる期間が長くなるだけで、合格できないことに代わりはありません。多くの3年生は山口高校の課題を信頼して休業中でも頑張っています。それでいいのです。何も不安に感じることはありません。

下級生の皆さん、受験制度がどう変わろうと大学が求めるのは「賢くて(学力)、やる気があって(意欲・向上心)、伸びそうな(可能性)」生徒です。この三要素がないと自分の行きたい大学、誰もが行きたい大学には行けません。三要素を磨くには「学習・部活・諸活動において充実した」高校生活を送ることが大切です。今、皆さんの手元には先生方から渡された問題冊子や様々なプリントがあります。Google で毎日学習事項も配信されています。先生方の思いがこもった山口高校の教材をきちんとやりきって、よい習慣を確立し、登校してきてください。

今年の4月に3年生に向けて発行した「進路ニュース Vol. 1」の内容を引用します。

この原稿を書いている時点(4/8)で共通テストまであと**283日**、国公立大2次試験まであと**323日**です。この日数は決して短くはありませんよね。でもそこに落とし穴があるように思います。当然のことながら、いつかは皆が受験の日を迎えるのですが、多くの受験生にとって300日先のことをリアリティをもって考えることは難しいのです。「まだこれだけ日にちがある」「もう少し後でもいいか」そう考えているうちにあっという間に時間が過ぎ、焦りや不安を抱えて受験に突入することになります。「〇〇が間に合わなかった」と口にする受験生はたくさんいますが、「間に合うようにする」にはどうすればよかったのか？ 答えは「早くから本気で取り組む」ことです。

・・・入試は真剣に自分と向き合う、めったにない機会と言えるでしょう。この機会を与えられたことに感謝し、そしてこの機会を上手に使っていきましょう。そのためにもタイミングが大事です。**ベストなタイミングで受験勉強をスタートすることができれば、最大限の効率で最大限の効果を期待することができます。**タイミングを逸した努力は、かなりの苦労をしないことにはベストタイミングの努力と同等の効果は期待できません。

悩もうが悩まいが毎日は過ぎていきます。4月の進路ニュースを出した時からすでに30日以上が経過しました。今の山高生にとって時間の空費と精神的なゆるみこそが最大の敵。今一度気を引き締めて、この1週間をベストな形で乗り切りましょう。最後に合格への10か条(説明を一部省略)と従来の受験スケジュールを挙げておきます。下級生の皆さんも参考にしてください。学校で会えるのを楽しみにしています。

絶対忘れるな！

合格への10か条

1 生活を管理せよ！

2 笑顔で過ごせ！

暗い顔には不運が集まる。苦しいときこそ元気を出し、笑顔で過ごせ。笑う門には福も、友も来る。受験は団体戦。気持ちよく勉強できる、刺激的な仲間たちとの楽しいクラスで、楽しく学べ。

3 授業と学校で身につけよ！

身につけられるものは、すべて授業と学校の隙間学習で身につけよ。非効率な内職なんかしない。「受験でいらない科目」こそ、授業が勝負。いろんなことへの興味と関心が、かえって脳の働き／記憶力を高めてくれる。

4 受験科目を減らすな！

前を向け。安楽を求め、後ろ向きになった所から敵に攻め込まれる。苦手科目から逃げずに戦う意欲と姿勢と緊張感が、得意科目も必ず伸ばす。全力で戦った共通テストの後だから、有利な受験パターン／合格への戦略が生きる。

5 苦手科目から始めよ！

総点で戦う入試は、弱点こそ得点源。1日の勉強は「吐き気がしそうな」科目・分野の復習から始め、好きな科目は後で楽しくのびのびやれ。いつも好きな科目から始める人の苦手科目は永久に先送り。合格も先送り。もちろん問題集や参考書はあれこれ手を出さず、これと決めたら徹底的にやり込め。

6 復習タイムと秘密ノートで定着させよ！

7 忘れる速度に追いつけ、追い越せ！

8 模試は本物の入試だと思って受けよ！

9 今の自分を乗り越え、一つ上をめざせ！

10 苦しい時こそ、「合格の瞬間」をイメージせよ！